

2007 年度

科目名 教育学演習 I	対象学科・学年 教育教福 3 回生	担当者 開沼 太郎 長瀬 美子
授業テーマ 「指導」について考える		
授業の概要と目標 本講義は、現在の子どもたちがかかえる問題をその背景から明らかにした上で、今日求められている「学び」のあり方やそのための授業づくりの方法（教育機器の活用も含めて）、子ども理解や学級経営の方法を中心に進めていきます。 分析、作成、討論、発表など、学習方法を多様に組み合わせて行い、実践的力量的形成に寄与したいと考えていますので、積極的な参加を希望します。		
評価方法 演習への参加の様子とレポートにより評価します。		
テキスト なし 必要に応じて資料を配布します。	著者	出版社
参考書 必要に応じて紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <前期> 長瀬担当 1. オリエンテーション 2. 実践を「分析する」とは（1） 3. 実践を「分析する」とは（2） 4. 実践の分析（1） 5. 分析に関する考察 6. 実践の分析（2） 7. 分析に関する考察 8. 中間まとめ（1） 9. 実践の分析（3） 10. 分析に関する考察 11. 実践の分析（4） 12. 分析に関する考察 13. 中間まとめ（2） <後期> 開沼担当 1. 後期のオリエンテーション <学習指導・教育技術の理論と実践> 2. 教育改革・教育制度の変遷 3. 学習理論とその応用 4. 教育指導技術の検討 5. 学習形態の多様化とその特質 <教材・教具の特性と活用> 6. 教材・教具の機能理解 7. 情報機器の教育利用における特性 8. 教材のデジタル化・デジタル教材の作成 9. 各種教材・教具の活用・組み合わせ・利用支援など <授業の構成と評価> 10. 授業の計画と学習指導案の検討 11. 学習指導の評価・分析 12. 模擬授業・分析 13. まとめ		

演習の進め方
実践分析の目的と意義
実践をどのようにして分析していくか
実践を分析する
実践から導き出される重要点は何か（意見交流も）
実践を分析する
実践から導き出される重要点は何か（意見交流も）
二つの実践に見られる子どもの姿に「時代性」を見る
実践を分析する
実践から導き出される重要点は何か（意見交流も）
実践を分析する
実践から導き出される重要点は何か（意見交流も）
子どもに「働かかける」とは

教育改革の要点や制度的な変遷の整理を通じて教育実践への影響を考える
現行の教育実践の理論的基礎を検討し、その意義について考える
発問や板書の方法など、教育指導技術のあり方について考える
学習形態の特徴や適性について考える

黒板、掛図、ソフト教材など、各種教材の機能の特徴を整理・理解する
教育の情報化に伴って整備された情報機器の教育実践における有効活用
従来型印刷教材のデジタル化やデジタル教材の作成、教材利用・管理の効率性
自作教材と他の教材との組み合わせ・活用の方法を考える（シミュレーション）

学習指導案の作成・検討、授業の流れ（導入・展開・まとめ）や計画
学習指導の評価の観点や結果の分析・活用などについて考える
授業のシミュレーションと結果の分析を通じて一連の授業の構成や指導の
重点について考える
後期のまとめ